科目コード	8105b	ナンバリング	KAB205	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度後期
科目名	人権と差別 1-地						
科目英語名	Human Rights and Discrimination 1-地						
担当教員	信田　和則						
資格・免許との関連	卒業必修科目						
学修内容	１．生きることの根本に関わる人権の歴史と現実について学ぶ。 ２．人権とは何か、差別を生み出すメカニズムとはどのようなものかについて、「普遍的な視点」と「個別的な視点」の両方からアプローチし、人権や人権問題に対する理解と認識を深める。						
学修成果到達目標	１．「すべての人間の尊厳」を実現する方向に人権感覚や意識の高揚を図り、個別カテゴリーの人権問題を認識して、その解決に向けて自分自身や社会がどのようにしたらいいのかを考察する力を身に付けることができる。 ２．人権が侵害されている構造を明らかにし、どのような解決課題があるのか、また状況への対応についての実践的な行動等について説明することができる。						

	授業計画	事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間
1	授業計画と成績評価方法・基準を確認し、学修の見通しをもつ。 人権文化の創造について学ぶ。	シラバスを読み、講義の全体計画を把握しておくこと。 教科書に目を通し、これまで人権や差別の問題にどのように向き合ってきたかをまとめておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
2	人権教育（Ⅰ）「普遍的な視点からのアプローチ」を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	人権における普遍的な視点について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
3	人権教育（Ⅱ）「個別的な視点からのアプローチ」を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	人権における個別的な視点について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
4	差別について考える。 〔グループ・ディスカッション〕	様々な人権侵害や差別の現状について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
5	国連及び日本国内における人権への取組を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	国連及び日本国内における人権への取組について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
6	女性の人権を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	女性の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
7	子どもの人権を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	子どもの人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
8	高齢者の人権を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	高齢者の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマ

		等を整理しておくこと(2 時間)	や内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
9	障がい者の人権を考える。〔グループ・ディスカッション〕	障がい者の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
10	同和問題を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	同和問題について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと（2 時間）	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
11	外国人の人権を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	外国人の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと（2 時間）
12	様々な人権・差別（Ⅰ）を考える。 （①HIV 感染者　２ハンセン病回復者　３セクシュアル・マイノリティ） 〔グループ・ディスカッション〕	HIV 感染者の人権を始めとして、差別や偏見に苦しんでいる人々の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
13	様々な人権・差別（Ⅱ）を考える。 （④個人情報保護　⑤インターネットによる人権侵害　⑥様々な人権問題） 〔グループ・ディスカッション〕	個人情報保護を始めとして、様々な人権に関わる問題について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
14	授業全体を振り返り、人権と差別の問題についてまとめる。 〔スピーチ〕	日本及び世界における人権や差別に関連する事象について整理し、それに対する自分の考えをまとめておくこと(2 時間)	本時に作成した科目終了レポートへの記述内容を思い起こし、人権を尊重する態度や人権感覚を磨く方途についてまとめておくこと(2 時間)
15	授業のまとめをし、人権教育への展望をもつ（人権メッセージの作成と発表）。 〔グループ・ディスカッション〕 〔スピーチ〕	人権や差別に関連する事象について整理し、それに対する自分の考えをまとめ、発表に向けての準備をしておくこと(2 時間)	人権や差別に関する基本的な内容や今日的な課題を整理し、すべての人の基本的人権が尊重される社会や職場環境の実現に向けて社会人としてこれから先どのように関わり、取り組んでいくか展望をもつ(2 時間)

試　験					
教科書	書　名	著　者	出版社	ISBN	備　考
	大阪府人権白書　ゆまにてなにわ	大阪府府民文化部人権局			
参考書	書　名	著　者	出版社	ISBN	備　考

成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など
	毎回提出すレポート・学習態度	40%	理解度、実践への意欲態度等

	科目終了レポート及びまとめ発表	60%	理解度、実践への意欲態度等
備　考	新聞やテレビ、インターネット等を通じて人権や差別に関わる話題を柔軟な発想で捉え、関心のあることを整理しておきましょう。 適宜、グループ・ディスカッションやスピーチ等の授業形態や内容を取り入れます。 毎回の授業の最後に学びを振り返り、コミュニケーションカード（レポート報告）を作成します。		
フィードバック			
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）			
授業内容	学校現場における教員経験がある教員が、その経験を活かして、今日的な課題（いじめ問題、不登校等）への対応を指導する。		

科目コード	8105a	ナンバリング	KAB205	単位数	2 単位	開講時期	2023 年度前期
科目名	人権と差別 1-栄（1 長）・BC・2-福						
科目英語名	Human Rights and Discrimination 1-栄（1 長）・BC・2-福						
担当教員	信田　和則						
資格・免許との関連	卒業必修科目						
学修内容	１．生きることの根本に関わる人権の歴史と現実について学ぶ。 ２．人権とは何か、差別を生み出すメカニズムとはどのようなものかについて、「普遍的な視点」と「個別的な視点」の両方からアプローチし、人権や人権問題に対する理解と認識を深める。						
学修成果到達目標	１.「すべての人間の尊厳」を実現する方向に人権感覚や意識の高揚を図り、個別カテゴリーの人権問題を認識して、その解決に向けて自分自身や社会がどのようにしたらいいのかを考察する力を身に付けることができる。 ２．人権が侵害されている構造を明らかにし、どのような解決課題があるのか、また状況への対応についての実践的な行動等について説明することができる。						

	授業計画	事前学修及び必要時間	事後学修及び必要時間
1	授業計画と成績評価方法・基準を確認し、学修の見通しをもつ。 人権文化の創造について学ぶ。	シラバスを読み、講義の全体計画を把握しておくこと。 教科書に目を通し、これまで人権や差別の問題にどのように向き合ってきたかをまとめておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
2	人権教育（Ⅰ）「普遍的な視点からのアプローチ」を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	人権における普遍的な視点について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
3	人権教育（Ⅱ）「個別的な視点からのアプローチ」を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	人権における個別的な視点について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
4	差別について考える。 〔グループ・ディスカッション〕	様々な人権侵害や差別の現状について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
5	国連及び日本国内における人権への取組を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	国連及び日本国内における人権への取組について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
6	女性の人権を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	女性の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
7	子どもの人権を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	子どもの人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
8	高齢者の人権を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	高齢者の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマ

		等を整理しておくこと(2 時間)	や内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
9	障がい者の人権を考える。〔グループ・ディスカッション〕	障がい者の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
10	同和問題を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	同和問題について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと（2 時間）	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
11	外国人の人権を考える。 〔グループ・ディスカッション〕	外国人の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと（2 時間）
12	様々な人権・差別（Ⅰ）を考える。 （①HIV 感染者　２ハンセン病回復者　３セクシュアル・マイノリティ） 〔グループ・ディスカッション〕	HIV 感染者の人権を始めとして、差別や偏見に苦しんでいる人々の人権について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
13	様々な人権・差別（Ⅱ）を考える。 （④個人情報保護　⑤インターネットによる人権侵害　⑥様々な人権問題） 〔グループ・ディスカッション〕	個人情報保護を始めとして、様々な人権に関わる問題について教科書の該当箇所を熟読し、今日的な課題等を整理しておくこと(2 時間)	本時に提示した課題に取り組むとともに、次回のテーマや内容について人権・差別の視点から考えておくこと(2 時間)
14	授業全体を振り返り、人権と差別の問題についてまとめる。 〔スピーチ〕	日本及び世界における人権や差別に関連する事象について整理し、それに対する自分の考えをまとめておくこと(2 時間)	本時に作成した科目終了レポートへの記述内容を思い起こし、人権を尊重する態度や人権感覚を磨く方途についてまとめておくこと(2 時間)
15	授業のまとめをし、人権教育への展望をもつ（人権メッセージの作成と発表）。 〔グループ・ディスカッション〕 〔スピーチ〕	人権や差別に関連する事象について整理し、それに対する自分の考えをまとめ、発表に向けての準備をしておくこと(2 時間)	人権や差別に関する基本的な内容や今日的な課題を整理し、すべての人の基本的人権が尊重される社会や職場環境の実現に向けて社会人としてこれから先どのように関わり、取り組んでいくか展望をもつ(2 時間)

試　験					
教科書	書　名	著　者	出版社	ISBN	備　考
	大阪府人権白書　ゆまにてなにわ	大阪府府民文化部人権局			
参考書	書　名	著　者	出版社	ISBN	備　考

成績評価方法・基準	評価方法	評価割合	評価基準など
	毎回提出すレポート・学習態度	40%	理解度、実践への意欲態度等

	科目終了レポート及びまとめ発表	60%	理解度、実践への意欲態度等
備　考	新聞やテレビ、インターネット等を通じて人権や差別に関わる話題を柔軟な発想で捉え、関心のあることを整理しておきましょう。 適宜、グループ・ディスカッションやスピーチ等の授業形態や内容を取り入れます。 毎回の授業の最後に学びを振り返り、コミュニケーションカード（レポート報告）を作成します。		
フィードバック			
実務経験のある教員による授業科目（※該当者のみ記載）			
授業内容	学校現場における教員経験がある教員が、その経験を活かして、今日的な課題（いじめ問題、不登校等）への対応を指導する。		